



Cisco C シリーズ サーバ トラブルシューティング ガイド

Cisco C-Series Servers Troubleshooting Guide

リリース 1.0.1
2011 年 3 月 4 日

**【注意】シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意
(www.cisco.com/jp/go/safety_warning/)をご確認ください。**

本書は、米国シスコシステムズ発行ドキュメントの参考和訳です。
リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップ
デートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合があ
りますことをご了承ください。
あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サ
イトのドキュメントを参照ください。

また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊
社担当者にご確認ください。

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコシステムズおよびこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証、および権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する保証をはじめとする、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコシステムズおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコシステムズまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

Cisco and the Cisco Logo are trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the U.S. and other countries. A listing of Cisco's trademarks can be found at www.cisco.com/go/trademarks. Third party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1005R)

このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、ネットワーク トポロジ図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

Cisco C シリーズ サーバートラブルシューティングガイド

© 2011 Cisco Systems, Inc.

All rights reserved.

Copyright © 2011, シスコシステムズ合同会社.

All rights reserved.



CONTENTS

はじめに	v
対象読者	v
マニュアルの構成	v
関連資料	v
表記法	vi
マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート	vi

CHAPTER 1

概要	1-1
トラブルシューティングのガイドライン	1-1

CHAPTER 2

サーバのハードウェアまたはソフトウェアに関する問題のトラブルシューティング	2-1
オペレーティング システムとドライバのインストールに関するトラブルシューティング	2-1
ESXi インストールの失敗：ネットワーク ドライバが存在しない	2-5
ディスク ドライブと RAID に関する問題のトラブルシューティング	2-6
ディスク ドライブ /RAID 設定に関する問題	2-6
複数（冗長）RAID コントローラの設定	2-9
RHEL 5.4 64 ビットでの RAID の推奨インストール（C200）	2-10
サーバに関する問題のトラブルシューティング	2-10
メモリ設定に関するトラブルシューティング	2-11
サポートに連絡する前の情報収集	2-11



はじめに

ここでは、『Cisco C シリーズ サーバ トラブルシューティング ガイド』の対象読者および構成について説明します。さらに、マニュアル内の表記法および関連資料の入手方法に関する情報についても示します。

ここでは、次の内容について説明します。

- 「対象読者」(P.v)
- 「マニュアルの構成」(P.v)
- 「関連資料」(P.v)
- 「表記法」(P.vi)
- 「マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート」(P.vi)

対象読者

このトラブルシューティング ガイドは、次の業務を担当するユーザを対象としています。

- Cisco C シリーズ サーバの実装
- Cisco C シリーズ サーバの管理

マニュアルの構成

このトラブルシューティング ガイドは、次の章で構成されています。

- 第 1 章「概要」
- 第 2 章「サーバのハードウェアまたはソフトウェアに関する問題のトラブルシューティング」

関連資料

次の場所から Cisco UCS のマニュアル セットを入手できます。

- 『[Cisco C-Series Servers Documentation Roadmap](#)』

表記法

コマンドの説明では、次の表記法を使用しています。

表記法	説明
太字	コマンドおよびキーワードは太字で示しています。
イタリック体	ユーザが値を指定する引数は、イタリック体で示しています。
[]	角カッコの中の要素は、省略可能です。
[x y z]	どれか 1 つを選択できる省略可能なキーワードは、角カッコで囲み、縦棒で区切って示しています。
string	引用符を付けない一組の文字。 string の前後には引用符を使用しません。引用符を使用すると、その引用符も含めて string とみなされます。

出力例では、次の表記法を使用しています。

screen フォント	スイッチに表示される端末セッションおよび情報は、 screen フォントで示しています。
太字の screen フォント	ユーザが入力しなければならない情報は、太字の screen フォントで示しています。
イタリック体の screen フォント	ユーザが値を指定する引数は、イタリック体の screen フォントで示しています。
< >	パスワードのように出力されない文字は、山カッコ (<>) で囲んで示しています。
[]	システム プロンプトに対するデフォルトの応答は、角カッコで囲んで示しています。
!、#	コードの先頭に感嘆符 (!) またはポンド記号 (#) がある場合には、コメント行であることを示します。

このマニュアルでは、次の表記法を使用しています。



(注)

「注釈」です。役立つ情報や、このマニュアル以外の参照資料などを紹介しています。



注意

「要注意」の意味です。機器の損傷またはデータ損失を予防するための注意事項が記述されています。

マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート

マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、その他の有用な情報について、次の URL で、毎月更新される『*What's New in Cisco Product Documentation*』を参照してください。シスコの新規および改訂版の技術マニュアルの一覧も示されています。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

『*What's New in Cisco Product Documentation*』は RSS フィードとして購読できます。また、リーダーアプリケーションを使用してコンテンツがデスクトップに直接配信されるように設定することもできます。RSS フィードは無料のサービスです。シスコは現在、RSS バージョン 2.0 をサポートしています。



CHAPTER 1

概要

この章では、Cisco ラックマウント サーバ (C シリーズ) に関する問題のトラブルシューティングに役立つ、障害、イベント、およびその他の情報の入手先の概要について説明します。

この章の内容は、次のとおりです。

- 「[トラブルシューティングのガイドライン](#)」 (P.1-1)

トラブルシューティングのガイドライン

Cisco C シリーズ サーバまたはその内部のコンポーネントに関する問題をトラブルシューティングする場合は、[表 1-1](#)に記載されているガイドラインに従うことを推奨します。

表 1-1 トラブルシューティングのガイドライン

ガイドライン	説明
障害またはエラーのメッセージ ダイアログボックスおよびその他の関連エリアのスクリーンショットを撮る。	これらのスクリーンショットは、問題が発生したときの Cisco C シリーズ サーバの状態に関する、目に見える手掛かりになります。コンピュータにスクリーンショットを撮るソフトウェアがない場合は、オペレーティング システムのマニュアルをチェックしてください。このような機能が含まれている場合があります。
問題が発生する前に自分が直接実行した手順を記録する。	画面またはキー入力を記録するソフトウェアにアクセスできる場合は、実行した手順を繰り返して、発生した内容を記録します。 このようなソフトウェアを持っていない場合は、実行した手順を繰り返して、その手順およびそれぞれの手順の後に発生した内容を詳しくメモします。
<code>show tech-support</code> コマンドを入力する。	サーバの現在の状態に関する情報は、シスコの Technical Assistance Center (TAC) にとって非常に役立ちます。そのため、問題の原因を識別するために必要な情報を頻繁に提供します。



CHAPTER 2

サーバのハードウェアまたはソフトウェアに関する問題のトラブルシューティング

この章では、特定の Cisco C シリーズ サーバに限定されない、ハードウェアまたはソフトウェアに関する問題をトラブルシューティングする方法について説明します。

この章の内容は、次のとおりです。

- 「オペレーティング システムとドライバのインストールに関するトラブルシューティング」 (P.2-1)
- 「ディスク ドライブと RAID に関する問題のトラブルシューティング」 (P.2-6)
- 「サーバに関する問題のトラブルシューティング」 (P.2-10)
- 「メモリ設定に関するトラブルシューティング」 (P.2-11)
- 「サポートに連絡する前の情報収集」 (P.2-11)

オペレーティング システムとドライバのインストールに関するトラブルシューティング

表 2-1 に、オペレーティング システムとドライバのインストール状況および解決策を示します。

表 2-1 OS とドライバに関する問題

問題	推奨される解決策
<ul style="list-style-type: none">• 基本的なサーバ設定手順• CIMC/BMC 設定の手順• BIOS 設定情報• BIOS アップグレード手順• CIMC/BMC ファームウェア アップグレード手順	<ul style="list-style-type: none">• 正しいサーバ ハードウェア ガイドに関する情報については、次のリンクにアクセスします。 http://www.cisco.com/en/US/products/ps10493/product_installation_guides_list.html• 正しいサーバ GUI および CLI コンフィギュレーション ガイドに関する情報については、次のリンクにアクセスします。 http://www.cisco.com/en/US/products/ps10739/products_installation_and_configuration_guides_list.html

表 2-1 OS とドライバに関する問題 (続き)

問題	推奨される解決策
C200 サーバ上にあるインストール CD がシステムから検出されないため、Windows 2003 R2 64 ビットのインストールが開始されません。	<ul style="list-style-type: none"> サーバがインストール CD からブートするように BIOS 内のブート順を設定します。 次の仮想メディア インストール プロセスを代替のインストール プロセスとして使用します。必要な場合は、ドライバのリストも入手できます。 http://www.cisco.com/en/US/docs/unified_computing/ucs/c/sw/os/install/2003-vmmedia-install.html
C200 サーバまたは C210 サーバ上で Windows 2008 R2 を実行すると、パフォーマンスが低下します (マウスおよびキーボードの反応が遅い)。	<ul style="list-style-type: none"> Windows 2008 R2 と一緒に提供される Intel 82576 ドライバには既知の問題があります。次のリンクにアクセスして、このチップセット用の最新の Intel ドライバに更新します。 http://downloadcenter.intel.com/SearchResult.aspx?lang=eng&ProductFamily=Ethernet+Components&ProductLine=Ethernet+Controllers&Product=Intel%C2%AE+82576+Gigabit+Ethernet+Controller&ProdId=3024&LineId=976&FamilyId=2280
Windows 2008 R2 OS のインストールに失敗して次のエラー メッセージが表示されました。「The computer restarted unexpectedly or encountered an unexpected error.Windows installation cannot proceed.」	<ul style="list-style-type: none"> C200 サーバ上では、Intel クアッドポート NIC が装着されていると、Windows 2008 R2 のインストールに失敗します。この NIC を装着しないでインストールを開始し、インストールの完了後にこの NIC を装着します。次のフォーラム メッセージも参照してください。 https://supportforums.cisco.com/message/3179297
Windows 2008 R2 のインストール中に、次のエラー メッセージが表示されます。「Alert: error string not found.」	<ul style="list-style-type: none"> Server Configuration Utility 1.0 は、すべての LSI RAID コントローラに対して動作したわけではありません。最新の Server Configuration Utility (SCU) を入手してもう一度試します。引き続きエラーが表示される場合は、手動による OS のインストールを試みます。各サーバに対応した最新の SCU の ISO を Cisco.com からダウンロードします。
C200、C210、または C250 上で VMware ESX/ESXi に障害が発生しました。	<ul style="list-style-type: none"> オンボード NIC が無効になっているか、認識されていない可能性があります。BIOS をチェックして、オンボード NIC が有効になっていることを確認します。 Intel NIC のデバイス ID が間違っている可能性があります。Host Upgrade Utility を使用して、LOM ファームウェアを更新します。 各サーバに対応した最新の SCU の ISO を Cisco.com からダウンロードします。
Windows 2008 R2 の実行中、タスク マネージャに複数のスパイクが表示されます。	<ul style="list-style-type: none"> ドライバを最新バージョンに更新します。次のリンクにアクセスし、ご使用のマシンについて詳細に調べます。 http://www.cisco.com/en/US/docs/unified_computing/ucs/overview/guide/UCS_rack_roadmap.html

表 2-1 OS とドライバに関する問題 (続き)

問題	推奨される解決策
ESXi インストールで LOM または NIC イーサネット ポートが認識されません。	<ul style="list-style-type: none"> ESXi に対して LOM が使用されるときに更新します。 ESXi に対してアドオン アダプタが使用されるときに更新します。
ESXi 更新で NIC が認識されません。	<ul style="list-style-type: none"> Cisco Host Update Utility を使用して LOM ファームウェアを更新します。1.2.x バージョンは次のリンクからダウンロードします。 http://www.cisco.com/en/US/docs/unified_computing/ucs/c/sw/lomug/install/LOMUG.html 1.3.x バージョンは次のリンクからダウンロードします。 http://www.cisco.com/en/US/docs/unified_computing/ucs/c/sw/lomug/1.3.x/install/HUUUG.html
古い OS をインストールできません。	<ul style="list-style-type: none"> C シリーズ サーバではモデルごとに異なるバージョンの OS がサポートされます。次のリンクにアクセスして、サポートされるオペレーティングシステムのマトリックスを確認します。 http://www.cisco.com/en/US/products/ps10477/prod_technical_reference_list.html
OS のないシステム上で BIOS をアップグレードできません。	<ul style="list-style-type: none"> 各サーバのハードウェア インストールおよびサービス ガイドに記載された BIOS アップグレード手順を使用します。次のリンクにアクセスします。 http://www.cisco.com/en/US/products/ps10493/prod_installation_guides_list.html
ドライブ上に ESXi がインストールされていても、そのパーティションからブートできません。	<ul style="list-style-type: none"> http://www.VMware.com にアクセスしてマニュアルを確認します。
CIMC がデフォルトで DHCP になり、IP アドレスが維持されません。	<ul style="list-style-type: none"> 次のリンクにあるマニュアルを確認します。 http://www.cisco.com/en/US/products/ps10739/products_installation_and_configuration_guides_list.html

表 2-1 OS とドライバに関する問題 (続き)

問題	推奨される解決策
BIOS POST 中にシステムが中断します。	<ul style="list-style-type: none"> • システムがブート時に LSI で中断し、ユーザ入力を待っている場合は、画面上の指示に従います。次の理由が考えられます。 <ul style="list-style-type: none"> – バッテリ ハードウェアが見つからない、または無効になっている。この警告は D を入力して無効化でき、次のブート時にこのメッセージが無効になります。これによりこの警告は迂回され、この理由によってシステムが中断することはなくなります。 – メッセージには、外部設定のインポートに関するものもあります。外部設定は、「F」を押すことによりインポートできます。また、設定ユーティリティを開始し (Ctrl+C を押す)、LSI 設定ユーティリティである WebBIOS を起動する方法もあります。外部設定の内容を確認し、それをインポートするかどうかを決定します。
ICH10R SATA ソフトウェア RAID のアダプタ ROM が SATA ポートをスキャンしたとき、ドライブが検出されない、またはシステムがハングアップします。	<ul style="list-style-type: none"> • ICH10R は、C200 サーバと C210 サーバのマザーボードにだけ組み込まれている SATA コントローラ ソフトウェアです。アダプタは存在しません。SAS ドライブをサポートしていないため、SAS ドライブを検出できません。SATA ドライブだけがサポートされています。 • HDD バックプレーンからのケーブルは、ICH10R を使用するように、マザーボードに接続されている必要があります。
LSI RAID コントローラのアダプタ ROM が SAS/SATA ドライブをスキャンしたとき、ドライブが検出されない、またはシステムがハングアップします。	<ul style="list-style-type: none"> • ICH10R は、C200 サーバと C210 サーバのマザーボードにだけ組み込まれている SATA コントローラ ソフトウェアです。アダプタは存在しません。SAS ドライブをサポートしていないため、SAS ドライブを検出できません。SATA ドライブだけがサポートされています。 • オンボード ICH10R コントローラは、VMware ソフトウェアで使用する場合に互換性がありません。この場合、アドオン コントローラ カードを使用する必要があります。 • HDD バックプレーンからのケーブルは、ICH10R を使用するように、マザーボードに接続されている必要があります。 • すべてのドライブが正しく差し込まれていることを確認します (必要に応じてドライブを装着し直します)。

表 2-1 OS とドライバに関する問題 (続き)

問題	推奨される解決策
オペレーティングシステムがブートしません。	<ul style="list-style-type: none"> OS がインストールされている正しい仮想ドライブが LSI WebBIOS で選択されていることを確認します。この作業は、システム ブート アップ時に Ctrl+H を使用して LSI WebBIOS を起動することにより行います。LSI WebBIOS メニュー内で、仮想ドライブメニューに移動し、仮想ドライブのリストを表示します。仮想ドライブのリストからブート ドライブを選択します。 F2 を押して、システム BIOS セットアップでブート デバイスが正しく選択されていることを確認します。ブート デバイス画面に移動し、LSI RAID コントローラが、サーバに接続された他のすべてのブート可能デバイスよりも前に表示されることを確認します。リスト内でこれを 3 番めのブート可能デバイスにすることを推奨します。

ESXi インストールの失敗：ネットワーク ドライバが存在しない

この問題は、任意の NIC または LOM で発生する可能性があります。次の手順を使用して、Intel イーサネット アダプタを更新します。手順のほとんどは、他の NIC に関する同様の問題に対しても使用できます。この手順を使用して、Intel ドライバを更新します。

-
- ステップ 1** ESX/ESXi Intel ギガビット イーサネット アダプタのドライバを更新するには、次のリンクにアクセスします。
http://www.vmware.com/support/vsphere4/doc/drivercd/esx40-net-igb_400.1.3.19.12-1.0.4.html
- ステップ 2** ESX/ESXi 4.0U1 の Intel ドライバを更新するには、次のリンクにアクセスします。
http://www.vmware.com/support/vsphere4/doc/drivercd/esx40-net-igb_400.1.3.19.12-1.0.4.html
- ステップ 3** ISO を CD または DVD に焼き込み、vSphere クライアントが起動されるデバイスにそれを挿入します。
- ステップ 4** ESXi 用のリモート CLI が必要な場合は、次のリンクにアクセスして入手します。
<http://downloads.vmware.com/d/details/vcli40u1/ZHcqYmRqZUBiZGUlcA>
- ステップ 5** vSphere クライアントを使用してサーバに接続し、サーバをメンテナンス モードにします。
- ステップ 6** /mnt/cdrom/offline-update/ に移動します。
- ステップ 7** ドライバを ESXi サーバにプッシュします。perl vihostupdate.pl --server <ip address> --install --bundle INT-intel-lad-ddk-igb-1.3.19.12-offline_bundle-166506.zip
- ステップ 8** プロンプトでユーザ名とパスワードを入力します。
- ステップ 9** vSphere クライアントから ESXi サーバをリブートします。ブートが完了したら、サーバのメンテナンス モードを終了します。
-

ディスクドライブと RAID に関する問題のトラブルシューティング

ここでは、次の内容について説明します。

- 「ディスクドライブ/RAID 設定に関する問題」(P.2-6)
- 「ディスクドライブ/RAID 設定に関する問題」(P.2-6)
- 「複数 (冗長) RAID コントローラの設定」(P.2-9)
- 「RHEL 5.4 64 ビットでの RAID の推奨インストール (C200)」(P.2-10)
- 「サーバに関する問題のトラブルシューティング」(P.2-10)
- 「サポートに連絡する前の情報収集」(P.2-11)

ディスクドライブ/RAID 設定に関する問題

表 2-2 に、RAID 設定に関する問題と解決策を示します。

表 2-2 RAID 設定に関する問題

問題	推奨される解決策
Windows でハードドライブが検出されません。	<ul style="list-style-type: none"> • インストールされている Windows OS バージョンに LSI ドライバがバンドルされていない可能性があります。これらのドライバは、インストールプロセス中にインストールされる必要があります。インストールプロセス中、ハードドライブが検出されない場合は、ドライバのロードオプションを使用して、それらのドライバがシステム内の LSI コントローラ用の正しいドライバを指し示すようにします。ドライバは、USB ドライブを使用してロードできます。ロードされると、ハードドライブが表示され、OS 用のハードドライブを選択できます。
Windows 2008 64 ビットと RAID コントローラのインストールで問題が発生しました。	<ul style="list-style-type: none"> • LSI ドライバは Windows 2008 64 ビットにバンドルされていません。これらは、インストールプロセス中にインストールする必要があります。インストールプロセス中、ハードドライブが検出されない場合は、ドライバのロードオプションを使用して、それらのドライバがシステム内の LSI コントローラ用の正しいドライバを指し示すようにします。ドライバは、USB ドライブを使用してロードできます。ロードされると、ハードドライブが表示され、OS 用のハードドライブを選択できます。
オンボードコントローラしかないサーバには ESX をインストールできません。	<ul style="list-style-type: none"> • LSI ハードウェア RAID コントローラが必要です。

表 2-2 RAID 設定に関する問題 (続き)

問題	推奨される解決策
<ul style="list-style-type: none"> ブート環境内で LSI RAID コントローラが検出されません。 オンボード RAID コントローラにアクセスできません。 	<ul style="list-style-type: none"> BIOS POST 中に、LSI オプション ROM が表示されます。Ctrl+H を使用して、仮想ドライブを作成するように LSI RAID コントローラを設定できます。設定されると、BIOS でブート デバイスメニューのリストに RAID コントローラが表示されるようになります。確認するには、F2 を押して BIOS POST メニューを起動します。LSI RAID コントローラがブート デバイスメニューのリストに表示されていることを確認します。 上記のプロセスを完了した後も、LSI RAID カードが検出されない場合は、システムの電源をオフにし、LSI カードを装着し直します。ケーブルがバックプレーンに接続されていることを確認した後、前述の手順に従って、LSI カードが BIOS セットアップメニューに表示されることを確認します。 カードを装着し直しても問題が解決されない場合は、その LSI コントローラを交換し (カードに問題がある可能性があります)、交換後のカードが BIOS POST 中に検出されるか確認します。
インストール中に VMware でローカルドライブが表示されません。	<ul style="list-style-type: none"> VMware でサポートされる最大パーティションサイズは、2 TB です。パーティションのサイズを変更して、2 TB のパーティションサイズ制限を超えないようにします。
RAID コントローラ カードが動作しません。	<ul style="list-style-type: none"> 装着されているカードがこのサーバでサポートされていることを確認します。サポートされている場合は、「ブート環境内で LSI RAID コントローラが検出されません」に記載されている手順に従います (前述の問題を参照)。

表 2-2 RAID 設定に関する問題（続き）

問題	推奨される解決策
RAID6 仮想デバイスのセットアップと Windows 2003 X64 のインストールに関する問題。	<ul style="list-style-type: none"> • システムがブートアップし、LSI オプション ROM 画面が表示されたら、Ctrl+H を押して LSI オプション ROM 画面に入ります。 • 設定ウィザードを選択し、指示に従って RAID 6 アレイグループを設定します（RAID 6 では少なくとも 3 つのドライブが必要です）。RAID 6 が作成された後、OS をインストールする仮想ドライブを初期化（完全初期化）します。 • 仮想ドライブが初期化された後、OS をインストールする仮想ドライブをブートドライブに設定する必要があります。 • 仮想ドライブメニューに移動し、仮想ドライブ番号を選択し、[Set Virtual drive] をクリックします。これを設定しないと、Windows のインストール時にエラーメッセージが出力されてしまうため、この作業は非常に重要です。 • Windows 2003 のインストールが開始されたら、画面の指示に従って Win2003 に LSI コントローラドライバをインストールします。LSI ドライバは、フロッピーディスクにコピーしておく必要があります。また、フロッピードライブがサーバに接続されている必要もあります。インストール中に、F6 を押してドライバをインストールします。これは、Windows LSI ドライバのインストールのために従わなければならない非常に重要な手順です。これにより、LSI 仮想ドライブがインストール中に確実に検出されるようになります。

表 2-2 RAID 設定に関する問題（続き）

問題	推奨される解決策
HDD が検出されません。	<ul style="list-style-type: none"> システム ブートアップ時に LSI コントローラが検出されない場合は、前述の「<i>LSI コントローラが検出されません</i>」に記載された手順に従って、LSI コントローラが BIOS ブートアップ時に検出されるようにします。 LSI コントローラでハード ドライブが検出されない場合は、ハード ドライブを正しく差し込んで確実に接続し、LED がグリーンに点灯していることを確認します。それでも検出されない場合は、別の HDD を挿入します（不良 HDD の場合）。 BIOS のブート デバイス メニューでは、接続されている物理ドライブが検出されないことに注意してください。仮想ドライブ（ブート仮想ディスクに設定されている）を指し示す RAID コントローラだけが表示されます。RAID コントローラが BIOS セットアップのブート デバイス メニューで検出されるように、LSI WebBIOS を使用して仮想ドライブを設定してください。
RAID 設定のセットアップに関する問題。	<ul style="list-style-type: none"> システム ブート時に、Ctrl+H を押して WebBIOS を起動します。設定ウィザードを使用し、画面の指示に従って RAID 設定を作成します。 BIOS と CIMC のバージョンを確認し、最新のバージョンにアップグレードします。次のリンクにアクセスしてアップグレード ソフトウェアを入手します。 http://www.cisco.com/cisco/software/navigator.html?mdfid=282745113&flowid=7210

複数（冗長）RAID コントローラの設定

シスコは、1つの RAID コントローラに障害が発生した場合に自動的にフェールオーバーする複数（冗長）RAID コントローラをサポートしていません。RAID コントローラの障害から復旧することは可能です。同じタイプとモデルの新しい RAID カードを取り付けます。

RAID アレイの設定データは、コントローラによって管理されているディスクの内部に保管されています。新しいコントローラは、それらの設定をディスクからインポートして、正しい RAID 動作を復元できます。各ディスクには、そのデバイスのメタデータのコピーが保管されています。アレイ内に 16 台のディスクが存在する場合は、各ディスクにそれぞれ独自のメタデータのコピーが格納されている可能性があります。

詳細な手順については、次の LSI マニュアルを参照してください。

http://www.lsi.com/DistributionSystem/AssetDocument/80-00156-01_RevH_SAS_SW_UG.pdf

初めて RAID カードを設定する場合、前に設定されていたディスクから RAID 設定をインポートする方法の詳細は、この LSI マニュアル内の手順「Import foreign config」に説明されています。

RHEL 5.4 64 ビットでの RAID の推奨インストール (C200)

RAID ドライブが正しく認識されるようにするには、次の手順を実行します。

-
- ステップ 1** ISO または DVD からの RHEL 5.4 i386 の通常のインストールプロセスに従います。
- ステップ 2** プロンプトで、次のコマンドを入力します。
boot: linux dd noprobe=ata1 noprobe=ata2 noprobe=ata3 noprobe=ata4
- ステップ 3** megaraid ドライバをマウントし、それを仮想メディアからマッピングします。.img ファイルがフロッピーにエミュレートされます。ファイル Drivers¥Linux¥Storage¥Intel¥ICH10R¥RHEL¥RHEL5.4 は、CCO から入手可能なドライバ CD 上にも存在します。これは、ルートからのパスです。
- ステップ 4** 「インストールの開始前」のステップで、ドライバを追加するかどうかをシステムから確認されます。
- ステップ 5** ドライバを提供します (マッピングされたファイルはフロッピーになるため、通常は /dev/sdb になります)。
- ステップ 6** インストールを続行します。
- ステップ 7** システムがストレージを検索すると、RAID が「LSI MegaSR」としてリストに表示されます。
-

サーバに関する問題のトラブルシューティング

表 2-3 に、C シリーズ サーバに関する問題と解決策を示します。

表 2-3 サーバに関する問題

問題	推奨される解決策
数日ごとに、サーバでハードブートが必要になります。	<ul style="list-style-type: none"> BIOS の更手順については、次のリンクにアクセスします。 http://www.cisco.com/en/US/products/ps10493/product_installation_guides_list.html 正しいファームウェア リリースの GUI または CLI コンフィギュレーションガイドに記載された CIMC アップグレード手順については、次のリンクにアクセスします。 http://www.cisco.com/en/US/products/ps10739/products_installation_and_configuration_guides_list.html
ホストが IP で到達不能になっています。CIMC は動作しますが、KVM でブランク画面が表示されます。	<ul style="list-style-type: none"> CIMC ファームウェアと BIOS をアップグレードします。

メモリ設定に関するトラブルシューティング

表 2-4 に、メモリ設定に関する問題と解決策を示します。

表 2-4 メモリ設定に関する問題

問題	推奨される解決策
新しいサーバ上でメモリ障害 LED がオレンジに点灯しています。	<ul style="list-style-type: none">• CIMC と BIOS をアップグレードします。
これまで動作していたサーバ上でのメモリ エラー。	<ul style="list-style-type: none">• エラーが報告されている DIMM をすべて交換します。• BIOS をアップグレードします。

サポートに連絡する前の情報収集

問題を個別のコンポーネントにまで特定できない場合は、次の質問に回答してみてください。これらは、シスコの Technical Assistance Center (TAC) に問い合わせる際に役立つ場合があります。

1. 問題が発生する前は、サーバは動作していましたか。
2. 新規に設置されたサーバですか。
3. このサーバは、現地で組み立てられたものですか。それともシスコから組み立てられた状態で到着したものですか。
4. メモリを装着し直しましたか。
5. サーバの電源をオフにしましたか。あるいはサーバを別の場所に移動しましたか。
6. 最近実施したアップグレードはありますか。ある場合には、それらの一覧を作成してください。

シスコの TAC に問題を問い合わせる際は、サーバからの tech-support 出力を取得しておくことが常に重要です。これは、サーバ CIMC/BMC から実行できます。

